

携帯インターネット技術(WiBro,WiMax,HSDPA)

のサービス状況と展望

- 韓国の WiBro と HSDPA サービスの展開を中心として -

移動体通信・IT専門の調査会社である株式会社MCA (<http://www.mca.co.jp/>)では、6月2日に調査レポート「携帯インターネット技術(WiBro,WiMax,HSDPA)のサービス状況と展望 - 韓国の WiBro と HSDPA サービスの展開を中心として -」(価格:49,350円/税込み)を発刊しました。

近年、通信技術の急速な発展によって様々な有・無線と通信・放送を結合した新しいサービスが登場しています。

本レポートでは、近年注目を集めている「Wi-Fi」、「WiMax」、「WiBro」、「HSDPA」など無線インターネット技術を分析したものである。特に、2006年上半期に「WiBro」と「HSDPA」サービスを商用化する韓国の技術開発とサービス開発動向を中心として関連技術の動向と事業者の戦略を分析しました。

これら携帯インターネット技術は「有無線通信」「放送と通信」を統合する技術として Convergence 化されたものであり、関連産業のみならず人々の生活にも大きい革新をもたらすものに違いない。特に、無線通信の限界であった移動性と転送速度を解決するだけでなく、閉鎖的だった無線インターネットのコンテンツ不足を解決できるという点が重要な意味をもち、今後の移動通信産業やコンテンツ産業に大きな影響を及ぼしていくと考えられます。

本レポートは、Wi-Fi,WiMax,WiBro,HSDPA などの技術はそれぞれ技術の強みを生かしながら、弱みをそれぞれで補い合うという Convergence 化の方向で市場が拡大していくという予測が支配的となっている状況下において、先行する韓国キャリアが無線インターネット事業を展開するために、どのような事業戦略、インフラ構築戦略を展開しているのか検証を試みものです。今後、日本国内においても、「HSDPA」など 3.5G やモバイル WiMAX など通信サービスの融合化が加速していくと推測され、皆様の今後の事業戦略の基礎資料としてご活用いただければ幸いです。

調査妙録

韓国ではWiBroとHSDPAサービスが共に2006年上半期に展開された。WiBroは、韓国第一移動通信事業者であるSKTと韓国第一有線通信事業者であるKTが展開。一方、HSDPAについては、WiBro事業権も確保したSKTと移動通信分野2番手であるKTFがサービスを展開している。

WiBroとHSDPA事業権を保有しているSKTは、既存の携帯電話インフラと事業ノウハウを十分に活用できるHSDPAを強化する事業戦略を展開する一方で、WiBroについては、当面、KTと消費者の動向などを見極めて展開していくスタンス。

KTは、移動通信事業の基盤がないため、KTグループ系列企業との連携によってWiBro事業の早期収益化を目指している。同社のWiBro事業戦略のポイントは、課題であるN/W構築と多数企業の参加を促進させることで収益性があるビジネスモデルを構築することにある。同社では、2006年までの無料サービスを通じて、多様な提供コンテンツの充実化と料金体系を構築する予定であり、本格的な有料サービスは2007年以後から開始する予定である。

WiBroサービスの市場予測に関して、韓国の研究機関と政府は急速な成長カーブを描き、最大950万人まで拡大すると予測しているが、MCAでは関連サービスとの競争とインフラ構築、コンテンツ、端末機などの不備により、最大850万人に留まると予測した。尚、この予測値には、韓国政府の強力なWiBroサービス支援策が展開されることが前提となっている。

WiBroサービスと関連した企業は、移動通信とW-LAN基盤の技術を融合した多数のインフラ機器と端末機開発を加速させている。なかでもサンソン電子は、自社内構築したWiBro技術の国際展開を活発に行っており、PosdataやLG電子はグローバル通信機器メーカーとの提携を通じた商品開発と事業展開を強化している。

レポート目次

第1章. モバイルインターネットサービスの概要

1. Wibro と Wimax サービスの概要
2. モバイルインターネットサービスの位置づけ
3. モバイルインターネットサービスの特徴

第2章 Wibro 技術とサービスの動向

1. Wibro 登場背景
2. Wibro の技術
 - 1) 技術仕様
 - 2) 関連技術との比較
3. Wibro サービスの概念
4. WiBro サービスの進化方向
5. Wibro サービスの Position 分析
6. Wibro と関連サービスとの関係
7. Wibro サービスのネットワーク構成
8. Wibro 関連機器の進化方向
9. 韓国での Wibro サービス
 - 1) 韓国での Wibro サービスの意味と現状
 - 2) 韓国での Wibro サービスの課題と開発背景
 - 3) 韓国移動通信事業者の業績推移参考 1) 世界移動通信産業の現状
 - 4) 韓国の移動通信と超高速 Internet 加入者数推移
 - 5) 韓国移動通信事業者の有無線統合サービス事業動向
 - 6) 韓国の WiBro サービス加入者数及び市場規模予測
 - 7) Wibro サービスの成長に関する予測
 - (1) MCA シナリオ A 案
 - (2) MCA シナリオ B 案
 - (3) MCA シナリオ C 案
 - (4) Wibro 市場成長に関する MCA の予測
 - 8) 韓国における Wibro サービスの開発経緯と今後の課題
 - 9) 韓国の Wibro サービスネットワーク構築動向
 - 10) 韓国 Wibro 事業者のネットワーク運営計画
 - 11) Wibro 海外事業者の動向
10. Wibro に関する最新動向

- 1) 標準化機関の動向
- 2) WiBro サービスへの IPv6 導入動向
- 3) WiBro と地上波 DMB の結合サービス動向

第3章 Wibro 関連サービスの動向

1. WiMAX サービス
 - 1) WiMax の概要
 - 2) WiMax の開発背景
2. WiMAX の技術規格
 - 1) WiMax と関連技術規格の比較
 - 2) WiMAX の標準規格
 - 3) Wibro と WiMax(WiFi)の比較
3. Mobile WiMax の動向(802.16-2005)
 - 1) モバイル WiMax の動向
 - 2) WiMax 関連部品や製品開発動向
 - 3) WiMAX サービスの進化
4. Wi-Fi 技術の概要
 - 1) IEEE 802.11n 技術の概要
 - 2) IEEE 802.11e 技術の概要
5. HSDPA の概要
 - 1) HSDPA 技術の特徴
 - 2) 3G から HSDPA への進化背景
 - 3) HSDPA の主要技術
 - 4) 3GPP での技術進化
 - 5) HSDPA 関連企業の動向

第4章 韓国モバイルインターネット事業の動向

1. 韓国移動通信キャリアの HSDPA 事業の動向
2. SKT の HSDPA 事業戦略
3. KTF の HSDPA 事業戦略
4. KTF と SKT の HSDPA 推進戦略の比較
5. HSDPA サービス商用化と関連サービス
6. KT の Wibro 事業戦略
 - 1) KT の Wibro 事業の目標
 - 2) KT の Wibro ネットワーク構築計画
 - 3) KT の Wibro 事業展開戦略

- 4) Wibro 試範サービスの目標とサービス種類
- 5) KT のモバイルインターネット事業の主要サービス
- 6) KT が Wibro サービス事業で主力するサービス分野
- 7) KT の Wibro 事業展開に対する姿勢
- 8) Wibro+DMB+CDMA 端末機用統合チップセット開発
7. SKT の Wibro 事業戦略
 - 1) SK テレコム Wibro 事業戦略
 - 2) SK テレコムの Wibro ネットワーク構築戦略
 - 3) SKT の Wibro サービス開始動向
 - 4) Wibro サービス商用化と SK テレコムの悩み
8. SKT と KT のモバイルインターネット事業の比較
 - 1) SKT の HSDPA と KT の Wibro 事業の推進動向
 - 2) SKT と KT の戦略比較
9. 韓国での次世代通信サービスの料金体系予測

第5章 モバイルインターネット機器メーカーの動向

1. サムスン電子
 - 1) Wibro 関連事業の動向
 - 2) Wibro 製品開発とグローバル展開
 - 3) グローバル提携を通じた Wibro 事業展開
 - 4) Wibro 関連機器(端末機とネットワーク装備)
2. LG 電子
3. POSDATA
 - 1) POSDATA の概要
 - 2) POSDATA のモバイルインターネット事業の動向
 - 3) POSDATA の提携を中心とした Wibro 事業強化戦略
 - 4) 「FLYVO」製品のラインアップ
 - 5) POSDATA の Wibro ネットワーク装備

< 図表目次 >

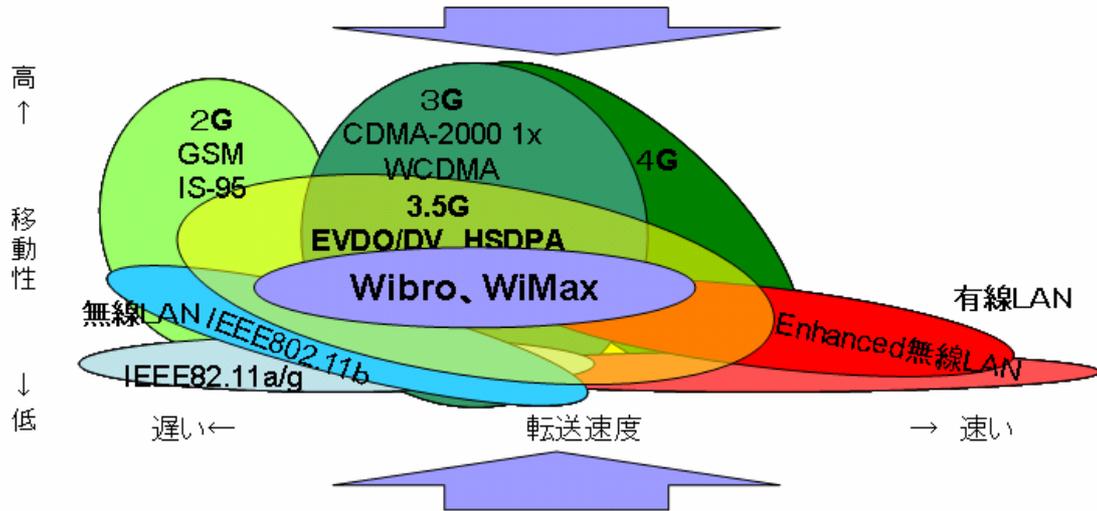
- 図表 1-1 モバイルインターネットサービスの位置づけ
- 図表 1-2 モバイルインターネットと関連サービスの比較
- 図表 2-1 Wibro サービスの登場背景
- 図表 2-2 Wibro の技術仕様
- 図表 2-3 Wibro と関連技術の比較
- 図表 2-4 Wibro の発展経緯
- 図表 2-5 主な Wibro サービスの概念
- 図表 2-6 Wibro サービスの Position
- 図表 2-7 Wibro のネットワーク概念図
- 図表 2-8 Wibro 関連機器の開発 Roadmap
- 図表 2-9 韓国の移動通信事業者の業績推移
- 図表 2-10 韓国の携帯電話と Mobile Internet 利用者数
- 図表 2-11 世界移動通信加入者と売上高の推移
- 図表 2-12 韓国の移動通信と超高速 Internet 加入者数
- 図表 2-12 Wibro サービスの加入者と市場規模予測
- 図表 2-13 Wibro サービス加入者予測(シナリオ A 案)
- 図表 2-14 Wibro サービス加入者予測(シナリオ B 案)
- 図表 2-15 Wibro サービス加入者予測(シナリオ C 案)
- 図表 2-16 Wibro サービス開発に政策と事業化の経緯
- 図表 2-17 Wibro 全国ネットワーク構築計画
- 図表 2-18 Wibro サービスのネットワーク概念図
- 図表 2-19 海外事業者の Wibro 関連サービス動向
- 図表 3-1 各通信規格別の比較
- 図表 3-2 WiMAX 標準技術規格の比較
- 図表 3-3 WiMax 技術規格別の特徴(移動性支援側面)
- 図表 3-4 Wibro と WiMax の比較
- 図表 3-5 WiMax サービスの進化
- 図表 3-6 Wi-Fi 関連技術規格
- 図表 4-1 韓国の HSDPA(EVDO)商用化スケジュール
- 図表 4-2 SKT の HSDPA サービス「3G+」の概要
- 図表 4-3 韓国での Wibro と HSDPA サービスの概要

- モバイルインターネットサービスの位置づけ

図表1-1 モバイルインターネットサービスの位置づけ

移动通信(CDMA-2000 1x, W-CDMA)

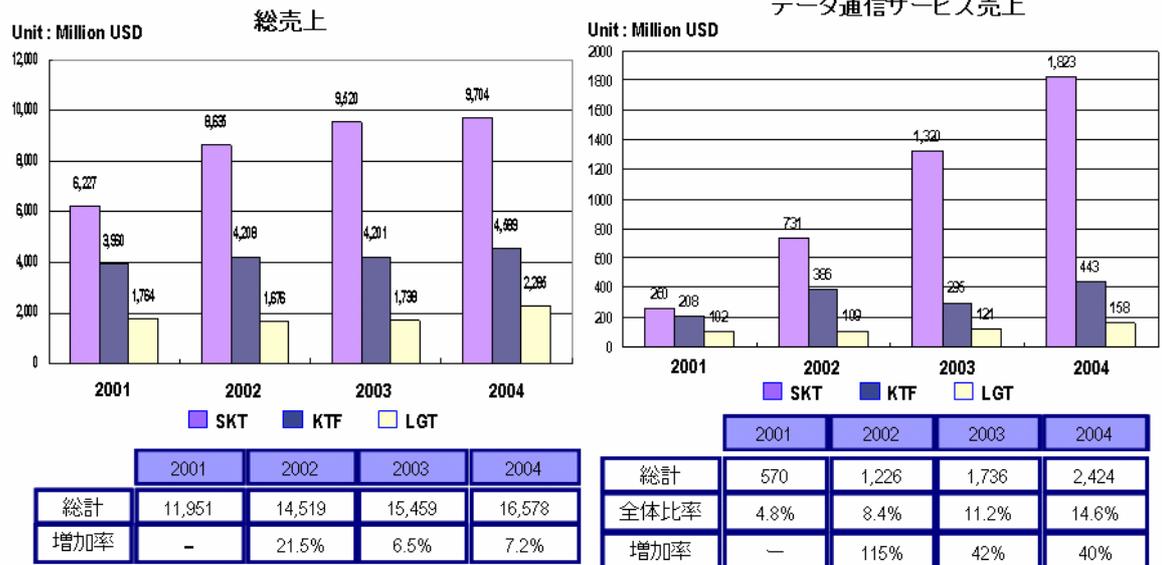
- ・ 初期音声サービスと中低速データサービス提供
- ・ EVDO/DV或はHSDPSサービスに発展
- ・ 多重アンテナ技術を搭載することで、最大10Mbpsの無線データ転送が可能になると予測



<p>無線LAN</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IEEE82.11a/g→IEEE802.11b ・ 低い移動性を持つ無線データ通信 	<p>有線LAN</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 有線LAN→Enhanced無線LAN ・ 固定環境での使用者に超高速サービス
---	--

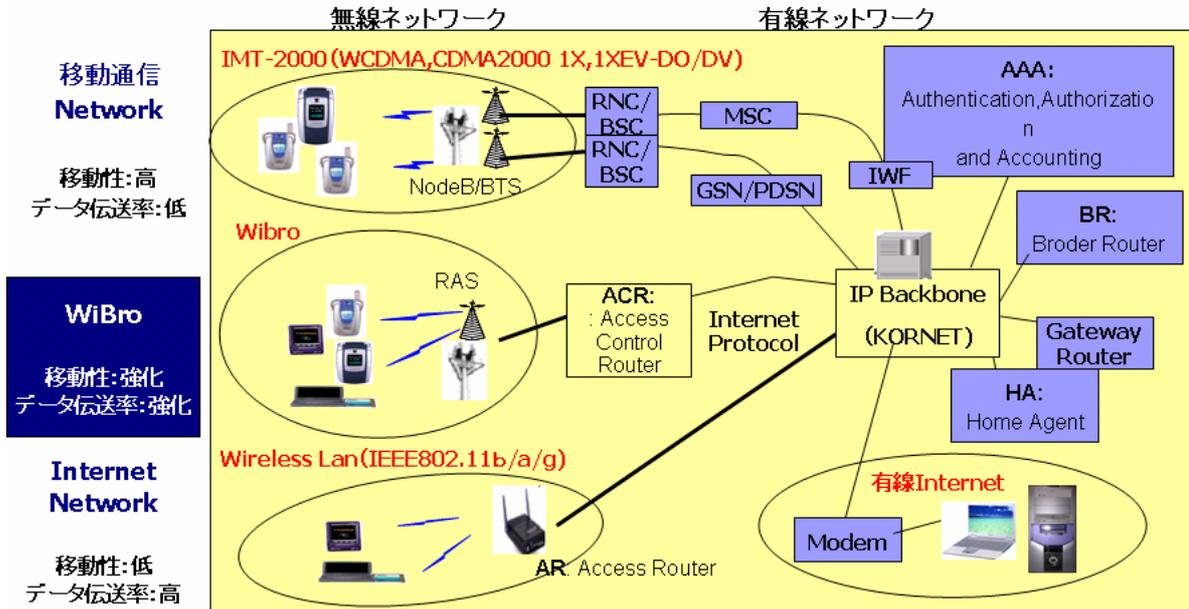
- 韓国移動体通信事業者の業績推移

図表2-9 韓国の移動通信事業者の業績推移



- WiBro のネットワーク概念図

図表2-7 WiBroのネットワーク概念図



調査資料の詳細

発行日:2006年6月

判型:PDFデータ(Key)によるダウンロード+A4横カラーコピー刷り製本73頁

発行・販売:株式会社MCA

〒106-6138 埼玉県さいたま市南区南浦和2-3-2 日栄ビル

TEL:048-813-7395 FAX:048-813-7399

URL: <http://www.mca.co.jp> E-mail: info@mca.co.jp

頒価:49,350円(税込み)

調査期間:2006年3月~2006年5月

資料の問い合わせ先

株式会社エムシーエイ(<http://www.mca.co.jp/>)

Tel:048-813-7395 Fax:048-813-7399